

衛研第1-24号  
平成27年 9月 9日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493-59-9325  
FAX 0493-59-9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報） 埼玉県内情報 平成 27 年 第 36 週（平成 27 年 8 月 31 日～平成 27 年 9 月 6 日）

### 今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 6 人の届出があった。四類感染症は、チクングニア熱 1 人、デング熱 1 人、レジオネラ症 2 人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 2 人、播種性クリプトコックス症 1 人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**RSウイルス感染症**(0.19 0.41)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加した。保健所別では、本庄(0.00 1.00)、川口(0.19 1.06)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では 1 歳が最も多く、2 歳未満が全体の 78.8%を占めている。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(1.33 1.56)の定点当たり報告数は、第 34 週以降増加に転じた。保健所別では、幸手(1.11 2.11)、狭山(0.76 1.76)保健所管内で大きく増加し、熊谷(3.89)、川越市(3.63)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳以上の全階級から報告があった。**手足口病**(5.51 4.99)の定点当たり報告数は減少したが、前年同時期と比べ多い状況にある。保健所別では、越谷市(5.75 8.13)保健所管内で大きく増加し、幸手(8.22)、春日部(7.33)、さいたま市(6.00)保健所管内で多い状況が続いている。**伝染性紅斑**(0.89 0.94)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。保健所別では、川越市(1.88)保健所管内からの報告が多い。眼科定点対象疾患では、**流行性角結膜炎**は 50 人の報告があり、3 週連続して報告数の多い状況が続いている。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 8 人の報告があった。

#### < 全数把握対象疾患の患者情報 >

<b>一類感染症</b>	報告なし	
<b>二類感染症</b>	報告なし（結核を除く）	
<b>三類感染症</b>	腸管出血性大腸菌感染症	6 人（病型 患者 4 人、無症状病原体保有者 2 人、血清型 0157 6 人）
<b>四類感染症</b>	チクングニア熱	1 人（推定感染地域 国外）
	デング熱	1 人（推定感染地域 国外）
	レジオネラ症	2 人（病型 肺炎型 2 人）
<b>五類感染症</b>	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2 人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 2 人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	梅毒	2 人（病型 早期顕症 期 1 人、無症状病原体保有者 1 人）
	播種性クリプトコックス症	1 人
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。  
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613  
 e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

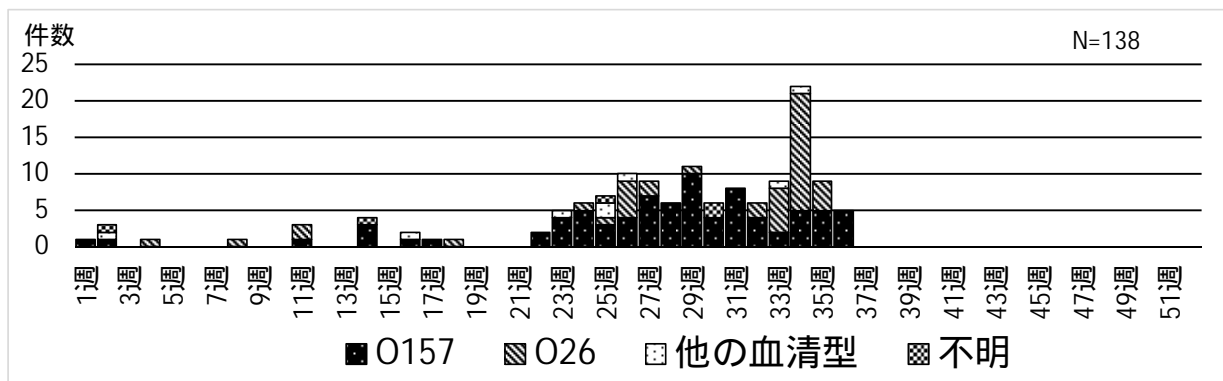
2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

## 注目すべき疾患

### - 腸管出血性大腸菌感染症 -

腸管出血性大腸菌感染症は、今週6人の届出（診断週集計5人）があり、年当初からの累計は138人となった。今週診断された5人の血清型は全てO157で、O157の届出は第22週(5月25日～31日)以降続いている。

週別血清型別届出状況(診断週集計)



今週診断の5人の年齢階級は10歳代1人、20歳代1人、50歳代1人、60歳代2人であった。累計では最も多いのは5～9歳の25人で、0～4歳の12人を合すると10歳未満は患者全体の26.8%を占めている。病型別では患者100人、無症状病原体保有者38人で、患者が72.5%を占めている。

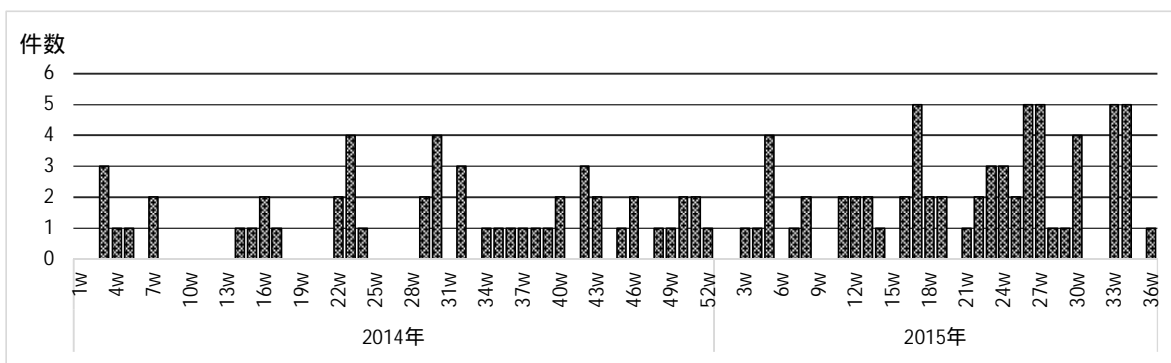
年齢階級別病型別報告数(2015年第1週～第36週 診断週)

年齢階級	0～4	5～9	10～14	15～19	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
患者	10	18	11	5	13	12	7	4	8	12
無症状病原体保有者	2	7	3	4	6	2	7	3	2	2

### - 梅毒 -

梅毒は前年同時期以降、届出が相次いでおり、今週は2人の届出（診断週集計1人）があった。今年の第11週(3月9日～15日)以降は、一週間に複数例の届出が散見されており、緩やかな増加の傾向が伺われ、今後の動向に注意が必要である。

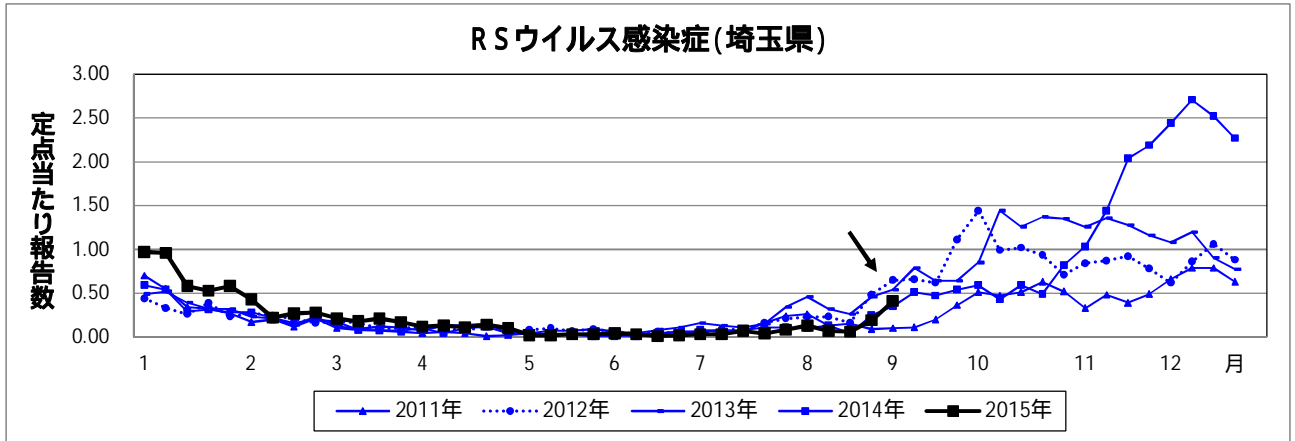
週別届出状況(診断週集計)



< 定点把握対象疾患の患者情報 >

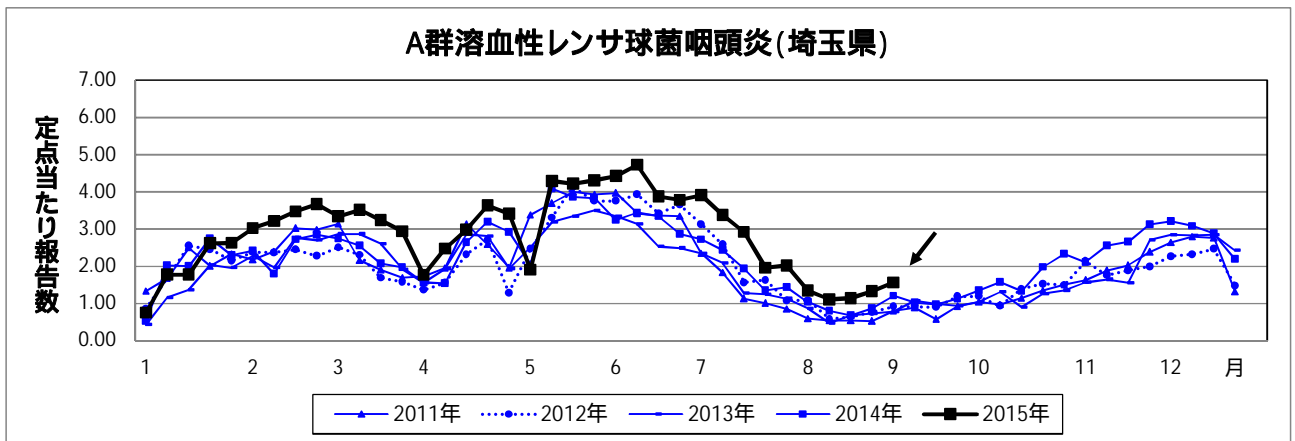
**RSウイルス感染症**

東松山、坂戸保健所を除く、14 保健所管内から報告があった。保健所別では、川口(1.06)、本庄(1.00)保健所管内からの報告が多い。



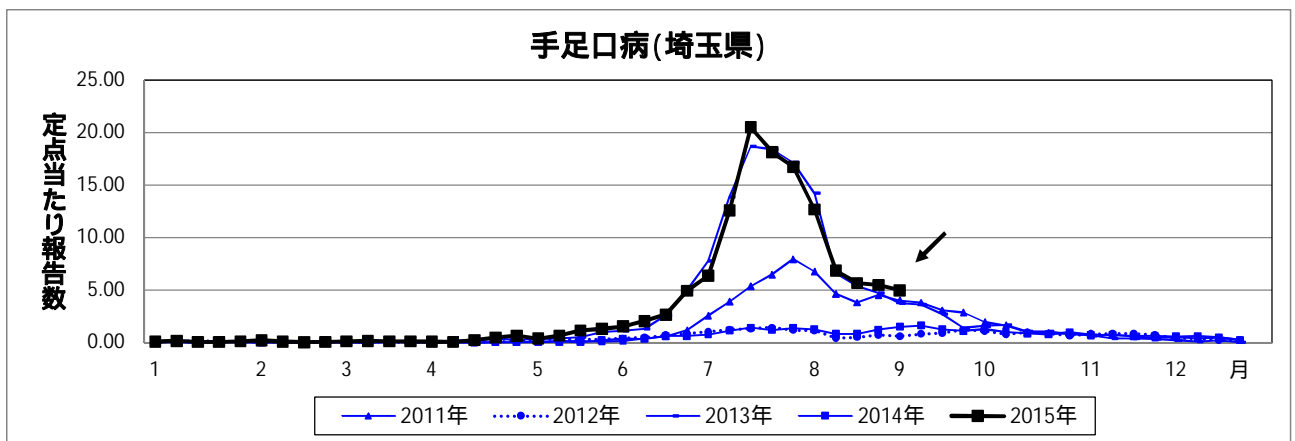
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

県内全保健所から報告があった。保健所別では、熊谷(3.89)、川越市(3.63)、川口(2.19)、幸手(2.11)保健所管内からの報告が多い。



**手足口病**

県内全保健所管内から報告があった。保健所別では、幸手(8.22)、越谷市(8.13)、春日部(7.33)、さいたま市(6.00)保健所管内からの報告が多い。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第36週)

(2015年9月8日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		5	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	6	138			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		6	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		11	日本紅斑熱		
エキノコックス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱	1	1	レジオネラ症	2	49
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱	1	9	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		25	侵襲性肺炎球菌感染症	1	57
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘*		6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	29	先天性風しん症候群		
急性脳炎		19	梅毒	2	65
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症	1	7
クロイツフェルト・ヤコブ病		6	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		24	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	6
ジアルジア症		3	風しん		6
侵襲性インフルエンザ菌感染症		10	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
<b>指定感染症</b>	該当疾患は無し				

水痘\* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3			

累計は診断日で集計

\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 保健所別 (第36週 平成27年8月31日 ~ 平成27年9月6日)																				
	インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)
全	2	66	50	251	577	35	804	152	110	4	180	113	-	50	-	-	-	8	-	-	-
県	0.01	0.41	0.31	1.56	3.58	0.22	4.99	0.94	0.68	0.02	1.12	0.70	-	1.22	-	-	-	0.80	-	-	-
川	-	17	6	35	116	10	81	18	14	1	20	3	-	6	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	1.06	0.38	2.19	7.25	0.63	5.06	1.13	0.88	0.06	1.25	0.19	-	1.20	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	10	6	27	59	3	62	9	12	-	29	6	-	4	-	-	-	2	-	-	-
朝	-	0.67	0.40	1.80	3.93	0.20	4.13	0.60	0.80	-	1.93	0.40	-	1.00	-	-	-	2.00	-	-	-
朝	-	2	4	17	34	2	52	17	5	1	8	7	-	4	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	0.17	0.33	1.42	2.83	0.17	4.33	1.42	0.42	0.08	0.67	0.58	-	1.33	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	-	6	3	28	-	12	-	4	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	-	1.50	0.75	7.00	-	3.00	-	1.00	-	-	1.00	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	1	2	1	-	-	10	-	-	-	2	1	*	*	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	0.33	0.67	0.33	-	-	3.33	-	-	-	0.67	0.33	*	*	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	4	1	2	-	-	20	7	1	-	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	1.00	0.25	0.50	-	-	5.00	1.75	0.25	-	1.00	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	3	1	35	60	-	53	9	5	-	22	1	-	11	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	0.33	0.11	3.89	6.67	-	5.89	1.00	0.56	-	2.44	0.11	-	5.50	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	1	1	3	1	-	17	5	4	-	9	6	-	1	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	0.17	0.17	0.50	0.17	-	2.83	0.83	0.67	-	1.50	1.00	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	1	1	8	16	5	44	-	4	-	9	7	-	-	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	0.17	0.17	1.33	2.67	0.83	7.33	-	0.67	-	1.50	1.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	3	3	19	13	3	74	4	2	1	10	23	-	1	-	-	-	2	-	-	-
朝	-	0.33	0.33	2.11	1.44	0.33	8.22	0.44	0.22	0.11	1.11	2.56	-	0.50	-	-	-	2.00	-	-	-
朝	-	-	7	7	9	3	21	4	1	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
朝	-	-	1.17	1.17	1.50	0.50	3.50	0.67	0.17	-	0.17	0.33	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-
朝	1	2	2	8	25	2	55	8	6	-	10	7	-	-	*	*	*	*	*	*	*
朝	0.06	0.18	0.18	0.73	2.27	0.18	5.00	0.73	0.55	-	0.91	0.64	-	-	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	9	3	30	51	-	57	9	16	1	16	3	-	4	-	-	-	1	-	-	-
朝	-	0.53	0.18	1.76	3.00	-	3.35	0.53	0.94	0.06	0.94	0.18	-	0.80	-	-	-	1.00	-	-	-
朝	-	1	1	29	14	-	19	15	4	-	7	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
朝	-	0.13	0.13	3.63	1.75	-	2.38	1.88	0.50	-	0.88	0.25	-	-	*	*	*	*	*	*	*
朝	1	1	4	1	16	-	65	4	9	-	7	15	-	3	-	-	-	2	-	-	-
朝	0.08	0.13	0.50	0.13	2.00	-	8.13	0.50	1.13	-	0.88	1.88	-	1.50	-	-	-	2.00	-	-	-
朝	-	11	2	26	135	7	162	43	23	-	26	25	-	10	-	-	-	1	-	-	-
朝	-	0.41	0.07	0.96	5.00	0.26	6.00	1.59	0.85	-	0.96	0.93	-	1.25	-	-	-	1.00	-	-	-

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く  
#2 真菌性を含む  
#3 オウム病を除く

9月 8日

13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第36週 平成27年8月31日～平成27年9月6日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	66	8	20	24	9	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	50	-	1	7	5	11	9	3	4	3	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	251	-	-	11	17	24	37	35	24	21	23	14	26	3	16	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	577	6	40	87	69	51	62	30	31	34	20	18	69	13	47	-	-	-	-	-	-
水痘	35	1	2	4	4	5	7	4	1	2	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	804	9	95	276	139	92	63	40	26	11	13	3	24	2	11	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	152	1	1	8	11	30	15	27	15	19	11	4	9	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	110	-	36	58	13	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	4	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	180	2	27	49	35	23	20	7	5	2	4	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	113	-	-	2	10	15	12	16	15	11	6	9	12	2	3	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	50	-	-	-	4	3	1	5	-	-	-	-	2	-	7	8	8	3	4	5	-
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	-	3	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第 34週

( 8月17日～8月23日 )

平成27年9月9日

インフルエンザの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は沖縄県(3.16)、佐賀県(0.10)、長崎県(0.10)、鹿児島県(0.10)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は7例と前週と比較して減少し、4都県から報告があった。

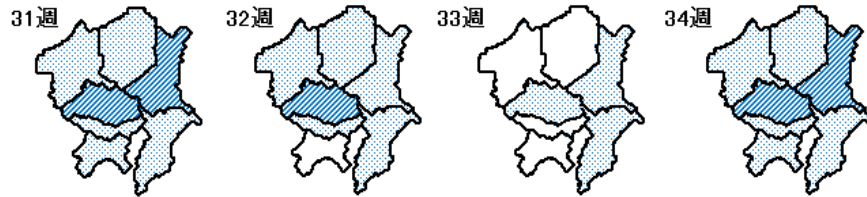
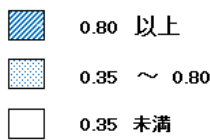
RSウイルス感染症の報告数は1,119例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.97)、沖縄県(0.94)、兵庫県(0.82)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.68)、大分県(2.36)、山口県(2.28)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(9.86)、宮崎県(6.11)、鳥根県(5.74)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.68)、富山県(0.48)、宮崎県(0.44)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(16.41)、長野県(14.53)、青森県(13.10)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(2.22)、鹿児島県(1.31)、滋賀県(0.97)、福岡県(0.97)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.74)、佐賀県(1.91)、石川県(1.59)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岐阜県(3.40)、高知県(2.13)、石川県(1.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。6府県から7例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(4例)であった。

## <関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(0.92)、茨城県(0.84)で高い。

### 流行性耳下腺炎



平成27年 34週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	253	15	-	-	1	-	6	4	4
	定点当たり	0.05	0.01	-	-	0.01	-	0.03	0.01	0.01
RSウイルス感染症	報告数	1,119	131	5	3	4	10	19	64	26
	定点当たり	0.36	0.15	0.07	0.06	0.07	0.06	0.14	0.27	0.14
咽頭結膜熱	報告数	1,332	392	19	5	16	97	69	118	68
	定点当たり	0.43	0.44	0.25	0.10	0.28	0.62	0.52	0.49	0.36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,595	927	68	27	110	179	148	235	160
	定点当たり	1.16	1.03	0.91	0.56	1.93	1.15	1.11	0.98	0.85
感染性胃腸炎	報告数	9,720	2,468	244	47	147	446	336	759	489
	定点当たり	3.13	2.75	3.25	0.98	2.58	2.86	2.53	3.18	2.60
水痘	報告数	815	263	23	9	16	42	57	55	61
	定点当たり	0.26	0.29	0.31	0.19	0.28	0.27	0.43	0.23	0.32
手足口病	報告数	17,494	4,994	445	183	343	872	748	1,232	1,171
	定点当たり	5.64	5.57	5.93	3.81	6.02	5.59	5.62	5.15	6.23
伝染性紅斑	報告数	1,615	473	49	22	28	128	82	110	54
	定点当たり	0.52	0.53	0.65	0.46	0.49	0.82	0.62	0.46	0.29
突発性発しん	報告数	1,735	442	31	20	30	74	65	121	101
	定点当たり	0.56	0.49	0.41	0.42	0.53	0.47	0.49	0.51	0.54
百日咳	報告数	47	13	2	-	5	1	3	2	-
	定点当たり	0.02	0.01	0.03	-	0.09	0.01	0.02	0.01	-
ヘルパンギーナ	報告数	4,548	1,166	126	10	73	202	214	282	259
	定点当たり	1.47	1.30	1.68	0.21	1.28	1.29	1.61	1.18	1.38
流行性耳下腺炎	報告数	1,634	504	63	22	23	144	91	89	72
	定点当たり	0.53	0.56	0.84	0.46	0.40	0.92	0.68	0.37	0.38
急性出血性結膜炎	報告数	8	4	-	-	-	2	-	-	2
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.05	-	-	0.04
流行性角結膜炎	報告数	790	270	35	6	45	49	44	42	49
	定点当たり	1.15	1.34	2.06	0.50	3.21	1.20	1.33	1.08	1.09
細菌性髄膜炎 #2	報告数	12	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.03	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	36	9	-	1	1	1	4	2	-
	定点当たり	0.08	0.11	-	0.14	0.13	0.10	0.44	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	235	50	2	6	3	3	2	26	8
	定点当たり	0.50	0.60	0.15	0.86	0.38	0.30	0.22	1.04	0.73
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	7	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.10	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)



埼玉県病原微生物検出情報 (月報) 2015 年 8 月号 2015 年 9 月 9 日発行

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターの持つ病原体検査情報をまとめたものです。 今月のコメント

腸管出血性大腸菌 O26 VT1,VT2 の集団発生があり、O26 の検出が O157 を上回りました。また、インフルエンザ AH3 が 1 検体検出されましたが、国外での感染と思われます。

## ウイルス分離状況

四類感染症 平成27年9月3日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体数合計			累計
		6月	7月	8月	
A型肝炎	検体数	3		3	18
	A型肝炎				3
	検査中				2
デング熱	検体数	3		3	15
	デング	1		1	9
	ヒトバルボB19			2	2
	検査中				

五類感染症 平成27年9月3日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体数合計			累計
		6月	7月	8月	
咽頭結膜熱	検体数	97	120	93	721
	アデノ 1	3	1		6
	アデノ 2				1
	アデノ 4	1			1
	検査中		1		1
インフルエンザ	検体数			1	66
	インフルエンザAH3			1	43
	" B				15
	アデノ 3				1
	ライノ				1
ヒトメタニューモ				3	
	検査中				
感染性胃腸炎	検体数	8	10	9	66
	ノロ	2	1		18
	サボ				2
	アストロ				2
	ロタ(A)				3
	アデノ 1				1
	アデノ 2		1		2
	アデノ 40/41	2			3
	コクサッキー A10				1
	パレコ	1	1		2
	サイトメガロ				1
	ライノ	1			1
	検査中			9	9
ヘルパンギーナ	検体数	4	3		9
	コクサッキー A2				1
	" A6	2	1		3
	" A9		1		1
	" A10	2			2
ライノ		1		1	
	検査中				
手足口病	検体数	4	12	10	28
	コクサッキー A6	2	5		8
	" A16	2	1		4
	パレコ		2		2
	エンテロ nt		1		1
	サイトメガロ		1		1
	ヒトヘルペス7		1		1
	ライノ		1		1
検査中		1	10	11	
脳炎・脳症 (四類以外)	検体数	6	7	3	55
	ヒトヘルペス 6			1	2
	ヒトヘルペス 7		3		3
	パレコ			2	2
	ライノ				4
	RS				2
	単純ヘルペス 1				1
	アデノ 6	1			1
	アデノnt				1
インフルエンザAH3				1	
コクサッキー A16	1			1	
	検査中				

五類感染症つづき

臨床診断名	検体数	検出月			累計
		6月	7月	8月	
麻しん	検体数	6			21
	麻しん				3
	ヒトバルボB19				2
	ヒトヘルペス 6				1
	ヒトヘルペス 7				1
アデノ 31				1	
	検査中				
風しん	検体数	2	3		7
	風しん	1	1		1
	ヒトヘルペス 6				1
	エンテロ nt				1
EB				1	
	検査中				
無菌性髄膜炎	検体数	6	27	21	58
	ヒトヘルペス 6		2		2
	ヒトヘルペス 7	1	2		4
	ムンブス				1
	水痘帯状疱疹	1	1		2
	コクサッキー B2		2		2
	" B3		3		3
	エコー9		1		1
	エコー 18		6		6
	ライノ		2		2
検査中		2	21	23	
流行性 耳下腺炎	検体数				3
	ムンブス				1
	検査中				
その他	検体数	58	57	49	402
	コクサッキー A6		3		4
	コクサッキー A9		2		4
	コクサッキー A16	1	1		1
	コクサッキー B3		2	1	3
	コクサッキー B4	4			4
	エコー9		1		1
	エコー25		1		1
	パレコ	1	2		4
	アデノ 1	1			2
	アデノ 2	6	3		16
	アデノ 3	1	2		3
	単純ヘルペス 1	2			2
	ヒトヘルペス 6	4	5		26
	ヒトヘルペス 7	2	4		20
	インフルエンザAH3	2			6
	インフルエンザB				1
	パラインフルエンザ 1	1	1		3
	パラインフルエンザ 3	13	9		23
	RS		2		15
	ヒトメタニューモ		1		29
	ライノ	16	8		77
	サイトメガロ	1	3		11
コロナ	2			10	
ノロ				1	
ボカ	5	1		10	
ヒトバルボB19		4	1	7	
EB	1			3	
	検査中			43	

nt : not typed

## 細菌分離状況

平成27年9月3日現在

病原体名	分離月	備考 (8月分)			
		6月	7月	8月	
赤痢菌	1		1	<i>S. sonnei</i> :1	
三類	腸管出血性大腸菌O157	24	30	15	H7(VT1&2):6, H検査中(VT1&2):6 H7(VT2):2, H検査中(VT2):1
	腸管出血性大腸菌O26	9	2	27	H11(VT1&2):8, H検査中(VT1&2):13 H11(VT1):3, H検査中(VT1):3
	腸管出血性大腸菌その他	3	2	2	O111:H-(VT1&2):1 O165:H-(VT1&2):1
四類	レジオネラ菌		3	1	<i>L. pneumophila</i> (SG1):1
五類	肺炎球菌	1		1	
	溶血性レンサ球菌	2	7		
	その他	3	5	1	(感染性胃腸炎) <i>Salmonella</i> Manhattan :1

## 埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況（2015.9.6 現在）

埼玉県で分離され埼玉県衛生研究所で確認した腸管出血性大腸菌は、2015年9月6日現在で106株です。昨年同時期の検出数183株より少ないものの、一昨年同時期の検出数と同じ検出数です。感染者の内訳で見ると下痢・腹痛などの症状を呈した有症状者からの分離が86株、業態者検便や接触者検便での無症状者からの分離が20株でした。高温多湿など腸管感染症の発生しやすい状況が今後も続くことから注意が必要です。分離されている血清型を表に示しました。O血清型で見ると例年通りO157が60株と最も多く、次いでO26が40株でした。

### 分離された腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型(2015.9.6 現在)

血清型	毒素型	検出数
O157:H7	VT1&2	27
O157:H 検査中	VT1&2	5
O157:H7	VT2	22
O157:H -	VT1&2	1
O157:H -	VT2	4
O157:H -	VT1	1
O26:H11	VT1&2	9
O26:H 検査中	VT1&2	13
O26:H11	VT1	16
O26:H 検査中	VT1	2
O111:H -	VT1&2	1
O91:H14	VT1	1
O91:H -	VT1	1
O165:H -	VT1&2	1
OUT:H2	VT1	2
合計		106

埼玉県衛生研究所では、PFGE法を用いたDNA切断パターンによる型別を行っていますが、集団感染事例や家族内感染での集積以外に、異なる保健所管内での分離株が同一パターンを示す例があり、共通感染源の可能性も考えられますので、注意していく必要があります。今後とも、原因究明調査等へのご協力をお願いします。



総合トップ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2015年 > 感染症の流行状況 2015年 第36週

感染症発生動向調査 2015年

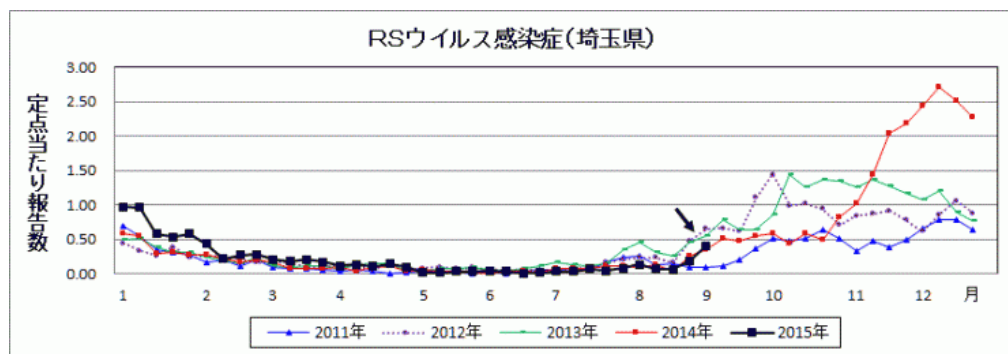
- [感染症の流行状況 2015年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第24週](#)

感染症の流行状況 2015年 第36週

2015年第36週（平成27年8月31日～9月6日）の要点 平成27年9月9日

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加しました。外出後の手洗い・うがいととも、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>			<a href="#">伝染性紅斑</a>		
<a href="#">RSウイルス感染症</a>			<a href="#">突発性発しん</a>		
<a href="#">咽頭結膜熱</a>			<a href="#">百日咳</a>		
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>			<a href="#">ヘルパンギーナ</a>		
<a href="#">感染性胃腸炎</a>			<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>		
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>			<a href="#">急性出血性結膜炎</a>		
<a href="#">手足口病</a>			<a href="#">流行性角結膜炎</a>		

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 \*2.推移は2週間前からの傾向を示します。( :増減無し、 :増加、 :減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい、 、 大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバン

お問い合わせ

保健医療部 衛生研究所 感染症疫学情報担当

郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1

電話：0493-59-9325

ファックス：0493-59-9613

▶ お問い合わせフォーム